

I

■出題のねらい

自動運転サービスの用途拡大をテーマにした英文について内容理解を問いました。□1～□3は該当箇所の文構造や意味を考えて空所に入る適切な表現を選ぶことができるかどうかを見ました。□4は整序問題ですが、使役動詞の **have** に気づくかどうかポイントになります。

□5は、**few** の「ほとんど～がない」と **option** 「選択肢」の意味が分かれば正答できると思います。□6は、**monetize** は **money** の関連語ではないかという類推と選択肢②にある **earn** とのつながりを読み取る問題です。□7は、英文に書かれていたこと、書かれていなかったことを正しく理解しているかどうかを見ました。

■採点講評

空所補充問題で正答率が低かったのは □1 でした。その個所の英文は「見込みのあるプログラムが6月頃までに選ばれることになっている」という意味になりますので、期限を表す前置詞 **by** が答えになります。整序問題の □4 も正答率が低かったのですが、使役動詞 **have** の用法を理解していなかったためだと考えられます。**have**、**make**、**get**、**let** の使役動詞の用法の違いはしっかり理解しておきましょう。□6は難しかったようですが、「(今まで)使われていなかった時間や場所を使うようにして収益を得る」という選択肢②が正答です。

II

■出題のねらい

英文の内容は、ホテルをいかに料金に見合うように利用をするかについてのアドバイスです。

□8～□11は空所に入る適切な英文を選ぶ問題です。それぞれのアドバイスに合った英文を選ぶことが求められます。□12～□15は空所に適切な語を選ぶ問題です。空所の前後の意味を把握する力と文構造の知識が求められます。□16は、**party** に「宴会」の意味のパーティーではなく、「一行、グループ」の意味があることを知っていることが鍵となるでしょう。

■採点講評

英文を適切な箇所に入れる □8～□11は、まずまずの出来でした。特に、□11の正答率は80%を超えていました。正答率が低かったのは、□12、□14、□15です。□12は、「ホテルの料金に含まれているサービスは、自分が本当に利用するものであってほしい。そうでなければ、必要以上に支払っていることになる」という文意ですから、正答は選択肢

④otherwise になります。14 は、「子供を起こさないように早めに寝る必要がない」という文意ですから、正答は選択肢③so になります。so that～（～になるように）の that が省略された形になっています。

15 は、「週末や休日のようにビジネスでの利用が少なくなる時」という文意で、選択肢②when が正答になります。前後の意味をどうつなげていくのかをよく考えることが大切です。

16 は、比較的よくできていました。

III

■出題のねらい

英文は、テレビのグルメ番組のファンが番組の魅力を語っている内容です。17 ～ 19 は指示詞 (this、that) がそれぞれ指す内容を聞いています。何を指しているのか理解するためには、丁寧に英文を読んでいくことが求められます。20 は、the tip of the iceberg という比喩的な意味がわかるかどうかは鍵ですが、その後で、他にもお気に入りのグルメ番組があるということがわかるので、「グルメ番組の一例に過ぎない」という意味で解釈すべきだということがわかると思います。21 は、問題の下線部の文のすぐ後に「深夜に美味しいものを探すのが難しい」とあるので、そこを見落とさなければ解答は容易であると思います。

■採点講評

17 ～ 19 は、どれもよくできていました。20 と 21 もそれほど難しくはない問題だと思ったのですが、こちらの正答率はともに50%を下回りました。20 については、「氷山の一角」という表現を知らなかったとしても、その後に自分の好きな番組はすべて料理に関連していることから判断すれば、「*Koduku* は料理を特集する番組の一例に過ぎない」という選択肢②を選ぶことができると思います。21 は、すぐ後を読めばわかる問題でした。この2問はどちらも、後ろを丁寧に読んでいけば正答できたと思います。

IV

■出題のねらい

テレビの司会者が農家の人にパースニップ（根菜の一種）の上手な栽培法についてインタビューしています。22、23 の解答には、どういう種を用いるべきか、いつ頃に種をまくべきか、いつ頃に穫り入れるべきかなどの情報を正確に読み取ることが求められます。

24 は類義語の問題です。25 は、文脈から適切に文を解釈できるかを問いました。

26 は付加疑問文の知識を問う問題です。

■採点講評

23 は、誤って選択肢③を選んだ受験生がいましたが、「デンプンを糖に変える助けをする」のは「低温」であって「根覆い (mulch)」ではありません。正答は選択肢①です。25 は難しかったようですが、会話の最後で司会者は「それ（この表現）は、何かについて話をするだけというのは止めて、それをしなさいという意味です。だから、話すのはもう十分、外に出てパースニップを植え始めましょう」といっています。そこから考えれば、選択肢③が正答になるとわかります。26 の正答率も低かったのですが、主節の動詞がどれであるかがわかっていたら正答できたと思います。付加疑問文の助動詞は、主節の動詞に応じます。

V

■出題のねらい

英文は、味噌の海外市場進出をねらう日本の会社の状況を説明しています。27 ～ 29 については、指定されたパラグラフで述べられていることを正確に理解しているかどうかを見ました。ここでも丁寧に英文を読むことが重要です。30 ～ 32 は、グラフを参照し、本文の空所に適切な語を入れることができるかどうかを問います。英文同様、示されているグラフについても何を表すものなのかを正確に理解しようとするのが大切です。

■採点講評

どの設問も正答率が低かったです。27 ～ 29 は、パラグラフで述べられていることを丁寧に読んで適切に理解していれば正答できたと思います。間違いの選択肢は、英文で書かれていなかったことや書かれていたのとは違うことを含んでいますので、注意して英文を読んでください。30 ～ 32 のグラフを参照して答える問題の正答率は低かったです。これらも英文の内容を適切に理解していれば難しい問題ではなかったと思います。32 は、選択肢② **international** を選んだ受験生が多かったのですが、空所の後に **abroad** があり、そこで「外国でのこと」だということは既に示されています。味噌の輸出が上昇していること、英文に書かれていた企業の味噌の海外進出の試みから判断すると、ここは選択肢④ **limitless** が正答です。